

令和7年度第6回南相馬市小高区地域協議会 会議録

1 日 時：令和7年10月23日（木）

午後1時30分～午後3時30分

2 場 所：小高生涯学習センター

研修室

【出席委員 11名】

会 長 阿 部 貞 康
副会長 志賀 由紀夫
委 員 小 林 友 子
委 員 半 谷 善 弘
委 員 菅 原 紀 子
委 員 山 本 麻 子

委 員 末 芳 治
委 員 飯 塚 宏
委 員 杉 重 典
委 員 半谷 恵美子
委 員 熊田 めぐみ

【欠席委員 3名】

委 員 末 永 義 人
委 員 西 山 喜代子

委 員 本 田 博 信

●南相馬市職員

小高区役所長	佐藤 克巳
小高区次長兼小高区地域振興課長	高野 真至
小高区参事兼小高区市民総合サービス課長	渡辺 和宣
小高区地域振興課おだかぐらし担当課長	志賀 弘達
小高区地域振興課長補佐兼庶務担当係長	渡邊 幸以
小高区地域振興課活性化担当係長兼復興拠点担当係長	安部 良一
小高区地域振興課主査（書記）	木幡 祐一朗

1. 開 会

○事務局（高野次長）

只今より令和7年度第6回小高区地域協議会を開会いたします。本日の会議の成立要件につきまして、事務局より報告を申し上げます。

本日の欠席委員は、末永義人委員、本田博信委員、西山喜代子委員です。地域協議会14名中、11名の出席ということで、過半数を超えており、協議書10（2）により、本日の会議は成立しております。初めに、阿部会長からご挨拶をお願いいたします。

2. 会長あいさつ

小高区地域協議会 阿部会長よりあいさつ

3. 議 事

○事務局（高野次長）

議事の進行については、地域自治区の設置等に関する協議書の規定によりまして、会長が会議の議長となります。

それでは阿部会長、議事の進行をお願いいたします。

(1) 会議録署名人の指名

○阿部会長

それでは議事を進めさせていただきます。まず、会議録署名人の選任についてですが、会議録署名人については、議長選任でよろしいでしょうか。

(異議なしの声)

それでは、今回の会議録署名人は、飯塚 宏委員、杉 重典委員の2名にお願いします。よろしくお願いいたします。

(2) 協議事項

協議事項 ①小高区の課題解決に向けた協議について

○阿部会長

次に協議事項に移ります。

協議事項①「小高区の課題解決に向けた協議について」を議題といたします。まずは事務局より説明をお願いいたします。

○木幡主査

地域協議会において、令和6年度から約1年かけて地域の課題について協議を進めてきました。皆様からの意見を集約し、事務局で意見書の形でとりまとめを行いました。

内容について読み上げさせていただきます。

事務局 意見書読み上げ

○阿部会長

事務局から説明いただきました。意見書の内容についてご質問、ご意見等あればお願いします。

○志賀副会長

意見書の内容はこちらでいいと思いますが、具体的な内容が浮かばないというのが第1印象です。ヒト・モノ・カネの記載がないので、より明確にしておいた方がこの意見書を受け取る方としても、いいのではないかと思います。この部分についてはどう考えているのかお伺いしたいです。

それと浮舟太鼓につきましては、小高区における生涯学習事業は、小高区における小中学校のことを指しているのか、小高区のどこを指してるのか、不明確だなと思っているのですが、生涯学習課で誰かが指導して行うのか、それとも学校の教育のプログラムに組み込んで取り組むのかが明確ではないと思います。浮舟太鼓については前回の状況を知ってる人がいるかもしれない可能性や、ビデオを残している人がいるかもしれないため、広報紙等で呼びかけを行うこともいいのではないかと思います。

○阿部会長

事務局から何かありますか。

○小高区地域振興課庶務担当係長

ご意見ありがとうございます。市の担当部局で協議をして、例えば神楽の事業を行うにあたって、お金が必要ということであれば、現状補助金はあります。さらに追記で補助という際は、事業の説明を地域協議会の場でさせていただいて、自治振興基金を割り当てるということを考えております。

浮舟太鼓について、当時の情報が得られないかということで動いておりましたが、ご助言いただきましたとおり、例えば小高区の皆様に呼びかけるような形でチラシや広報紙、ホームページ等を活用して皆様から情報をとれるような体制を整えていければと思います。

対象の方は小・中学生を想定しておりますが、小高小学校と協議を行いましたが、授業の余剰時間がないため、生涯学習事業等で行えないかということで考えているところであります。地域の子どもたちが楽しく参加してもらうような形で実施できたらということで、各関係課と調整をとりながら進めていきたいと考えております。

○小高区地域振興課長

補足させていただきます。今回の意見書の位置付けですけれども地域協議会の委員の皆さまの思いが詰まった意見書ということを認識していただければと思います。この1年間皆さんに協議していただいて、地域協議会からあるべき姿を今回示すということが、この意見書の立場でございます。

ただ志賀副会長がおっしゃるように、現実的でないものを示しても実現できないと思ってます。我々はこの立場は地域協議会の事務局でありますけれども、一方区役所に戻れば、地域振興課の職員としてこの意見書に関しては、1番は文化財課、2番は生涯学習課と事前協議を行っております。

1番の文化財課はもうこの内容で大丈夫ですよ、取り組みますといった意見をいただいている状況です。2番目の生涯学習課に関しては、少し抵抗がありました。そのうえで、渡邊係長から説明があった自治振興基金の話になります。自治振興基金は、地域協議会の皆様の承認を得ないと使えない基金になってますので、もし文化財課や、生涯学習課でこの事業を進めるにあたっ

て、自治振興基金を使わせてほしいという希望が上がってきた場合は、一旦皆様の方にお諮りをし、そこで了解が得られれば、基金を活用できるように繋いでいきます。

生涯学習事業の部分ですが、小学校や中学校の授業の一環で取り組んでもらえれば非常にありがたいところもありましたので、小高小学校の教頭先生と相談させていただいた経過があります。教頭先生の話ですと、国の働き方改革で、学校にも余剰時間がほとんどない状況と話がありました。そのとき教頭先生に、新地町の事例をご紹介いただきました。新地町は生涯学習事業で子どもたちを対象に太鼓を教えるカリキュラムがあるようです。自由参加ですが、最初は人が少なかったようですが、太鼓を行う姿をみて、どんどんやりたいといった子どもたちが増えてきたようです。

先ほど譜面の部分で、ビデオ等の記録があるのではないかと話がありました。このことについては、この意見書を提出した後で、これを受けた生涯学習課ないし、これを実行する部署で、探したりすることができればいいと考えているところです。

○志賀副会長

承知しました。ありがとうございます。

○阿部会長

ありがとうございました。その他ありますか。

○飯塚委員

10月15、16日に真岡市に行ってきました。そこには報徳太鼓がありまして、二宮尊徳にまつわる太鼓音楽を作ってはどうかと話をしてきました。

南相馬でも新しい太鼓音楽を作り、演目として行っていけばいいのではないかと思います。生涯学習事業の一環で太鼓がありますから、やってみませんかと話をしていくことはよいのではないかと思います。

○阿部会長

飯塚委員からの話について事務局からありますか。

○小高区地域振興課長

今までの話はおそらく生涯学習課になるであろうと思いますので、お伝えしていきます。

○阿部会長

その他ありますか。

○半谷恵美子委員

先日、文化財課の方からお話聞いたときに、子どもたちと言ってしまいがちだけど、重いよねという話があったと思うのですが、ここは子どもたちに担っていただく形ということでしょうか。

○小高区地域振興課長

文化財課で話をしていたとおり、学校行事として行うのが難しいと認識しております。小高小学校の教頭先生にお聞きしたのですが、小高区が他の地域と違うところは、放課後、塾などないということです。放課後にこのような生涯学習事業の内容を組んでもらうと、子どもたちが参加しやすいのではないかと考えております。小高区は原発の被災地として一度人口がゼロになった地域で、我々職員もそうですが、当時のことを引きずって前を向けないという方も多かったです。震災を知らない子どもたちが元気に太鼓を叩く姿は、普通子どもたちに大人が背中を見せるっていうことがありますけれども、逆に子どもたちに背中を見せて欲しいという思いがあります。

指導者は小高地区で見つけることは難しいかもしれませんが、原町や鹿島地区にはいると思っておりますので、来てもらうこともいいのではないかと考えております。

○半谷恵美子委員

子どもたちから始まって、大人も一緒にやっていくみたいな人が増えていくならそれはそれでいいのかなということですね。

○半谷善弘委員

来年の野馬追は小高地区が流れ山踊り担当だと思いますが、それを子どもたちに覚えていただきたいと、お話がありました。色々な行事を取り組むのはいいのですが、今小高の子どもたちは非常に少ないので、実際に取組内容

を絞って、子どもたちにも負担がかからない状況を作らなければならないと感じております。全てを子どもたちだけにお願いするのはちょっと無理があるのかなという思いはあります。

○小高区地域振興課長

流れ山踊りの件ですが、令和8年度は小高区の流れ山踊りが祭場地で踊る番になっております。例えば原町区でもその流れ山を踊る団体は、そんなに人数が多いわけじゃなく、他地区から集めてきています。実際流れ山踊りに関しては、小高中学校の生徒が小高区の保存会の方に踊りを教えてもらっていて、今年初めて帰り馬で踊った経緯があります。流れ山踊りに関しては継承されいると、市としては捉えております。

○小高区地域振興課庶務担当係長

神楽と田植踊りの件ですが、文化財課との協議の中では、対象は子どもという形ではなく、地域の伝統芸能でありますけど、行政区に限らず、例えば片草行政区の神楽であっても、その地区の人に限らず、隣の地区から来てるメンバーでも、大丈夫であると考えているようです。太鼓の方は小・中学生にはお願いするということで考えているところではありますが、神楽、田植踊りについては、子どもというような指定は考えておりません。

○阿部会長

ありがとうございます。その他ございますか。

委員の皆さんからご意見いただきました。この意見書を市に提出した後に、高野課長から話があったように、まずは担当課にそれぞれ検討していただきます。文化財課あるいは、生涯学習課、教育委員会等に、こういったことが課題としてあるので、市でこの課題に対応してほしいということを提言するという形でよろしかったでしょうか。具体的にいつから行うとか、どういった方法で行っていく等は、次の段階ということですよ。

○小高区地域振興課長

タイミング的には令和8年度の当初予算の編成の時期に入ってきますので、対応としては令和8年度の事業にこれらを入れてもらうという形で考えております。

○阿部会長

その他ございますか。もしなければただいまの意見書については、委員の皆様から色々のご意見をいただきましたので、そちらを踏まえて、最終調整を行い、市長に意見書を提出するという形でよろしいでしょうか。

○委員一同

異議なし

4. その他

①先進地視察研修について

○阿部会長

次に、「4. その他」に移ります。①先進地視察研修について、事務局よりお願いします。

○木幡主査

事務局より「先進地視察研修について」ご説明させていただきます。皆様から提案いただいた内容について説明させていただきます。

事務局より説明

○阿部会長

ありがとうございます。事務局から先進地視察研修について説明いただきました。まずは皆様からご質問、ご意見等あればお願いいたします。

○志賀副会長

視察研修は日帰りなのか、それとも1泊2日も可能なのでしょうか。

○木幡主査

予算上、1泊2日は可能であります。

○阿部会長

では、委員の皆様と視察先の協議を行いたいと思いますが、本日出席委員お一人ずつ順に、ご意見いただければと思います。

○末委員

F-REI の動きを把握したいので、F-REI 視察を希望します。

○飯塚委員

末委員同様、浪江町の F-REI 視察を希望します。

○杉委員

私も同じく隣町の F-REI 視察を希望します。

○半谷恵美子委員

個人的には西会津に行ってみたいですが、F-REI の動きは学んでみたいと思っております。

○熊田委員

オガールに行ってみて学んでみたいと思っております。F-REI は南相馬市からも説明があると思うので、足をのばしてみたいと思いました。

○山本委員

参加できるかはわかりませんが、F-REI 視察を希望します。

○菅原委員

視察研修としていくなれば、オガール視察を希望します。

○半谷義弘委員

浪江町や双葉町に限らず、大熊町も動きが進んでおります。F-REI は距離が近いので、行くのであれば抱き合わせで、大熊町も含めた研修を希望します。

○小林委員

まずは身近の双葉郡を見て、小高の発展に活かしていければと思います。

○志賀副会長

浪江町に行きつつ、双葉町や大熊町と併せて視察にできればいいのかなと

思っております。

○阿部会長

ありがとうございました。皆様から色々のご意見をいただきました。11月から12月に実施予定ということで、日程の関係と皆様の意見からF-REI視察と双葉郡視察という形で進めてもよろしいでしょうか。

委員一同

異議なし。

○阿部会長

ありがとうございました。研修の日程、内容については事務局から後日ご連絡いたしますので、よろしくお願いいたします。

②旧小高商業高等学校跡地の利活用について

○阿部会長

次にその他②に移ります。旧小高商業高等学校跡地の利活用にかかる協議について議題とします。説明をお願いいたします。ここでの議事は、事務局をお願いいたします。

小高区地域振興課 活性化担当係長より説明

○小高区地域振興課活性化担当係長

前回の地域協議会で委員の皆様に記載いただいた、旧小高商業高等学校跡地を利活用した小高区の課題解決機能について、委員の皆様から発表をお願いいたします。まずは阿部会長からお願いいたします。

○阿部会長

小高区の課題については、人口減少と少子高齢化の対策が必要になってきます。安心して暮らす仕組みができるような形を整えていくことが課題であります。そのための手段として、まち中の空き地空き家を有効に活用できるシステム作り、例えば憩いの場の設置がよいのではと思います。それについては、空き地、もしくは旧小高商業高等学校跡地を利用することを考えております。まずは環境を整えながら、皆さんに住んでもらうことが大事だと思

います。跡地は防災公園を兼ねた整備も行ってほしいと考えております。旧小高商業高等学校は浸水区域のため、そういった点も考慮する必要があると思います。

○小高区地域振興課活性化担当係長

ありがとうございます。続きまして、志賀委員からお願いします。

○志賀副会長

人口減少ということで、生産地域での子育て世帯の減少、これが同業者不足を生んで商圈が縮小して、小売、飲食業の方も極めて厳しいという実態になってきます。人口は直ぐに伸びるわけではありません。まずは、関係者交流から始められればいいのではと思ってます。そのためには、現在つながる市や OWB 株式会社で、企業型の地域おこし協力隊等、色々な形で実施しておりますので、まずはチャレンジショップができて、その人たちが泊まれる施設が整備できればよいと考えております。それと、体験型施設、ロボット・ドローン体験や、フットサルやスケボーを行う等の遊びの場もできればよいのではないかと考えております。

○小高区地域振興課活性化担当係長

ありがとうございます。続きまして、小林委員からお願いします。

○小林委員

本来だったらもっと早く老人福祉センターを使えたはずであります。この場所は我々の代の憩いの場となっていたはずですが、行政はしっかり考えてほしかったと思っております。それから若い人達を OWB 株式会社が呼び込んでくれても、そういった人たちが定住できるような場所がありません。例えばサンフーズの跡地等や、空き家をリノベーションして、住むところの整備を行ってほしいと思っております。旧小高商業高等学校の跡地は、基本は公園という形で、皆の憩いの場所ができればいいなと思っております。それと今年の秋まつりは雨で中止となりました。道路使用許可で行うのではなく、旧小高商業高校跡地を、いつでも使用できる場所として、イベントを行ったりお店が出店できたりする場所にできればいいのではないかと思います。

○小高区地域振興課活性化担当係長

ありがとうございました。皆さんの発表が終わった後、再度討論の時間を設けます。続きまして、菅原委員お願いします。

○菅原委員

老人も子どもも楽しめる温浴施設がないなと思っております。その手段としては、区内、市内外の人が集まるような温浴施設を作る。そこに泊まる機能を整備すれば採算が合ってくる形にもなるのではないかと思います。市内外の人が集まれば、収益も上がり、施設の運営も安定してくると思います。それとPRは重要だと思いますので、例えばこの温浴施設を作ったとしても、テレビやマスコミとかSNS、新聞その他もっとPRするところを考えていかないと続いていきません。発信をたくさん行い、PRをしていくことも重視いただければと思います。

○小高区地域振興課活性化担当係長

ありがとうございます。続きまして、熊田委員お願いいたします。

○熊田委員

普段空き家関係の仕事をしている私と、小高で母親をしている私で、2通りの課題を感じています。まず空き家空き地についてなんですけど、土地価格の高止まりというところがまず課題だと思っています。ミライエでは、空き家や空き地の情報を集めており、情報は増えてます。ただし価格が高くて手がでない状況です。例えば、原町区から小高区に来る人も移住者というくくりで話をさせてもらいます。移住を考えている若い層はお金がありません。市内からもそうですが、市外県外からの移住者は、すぐに住宅ローンや融資を受けられる状態にはありません。家を買えないという状況があります。小高に住みたくてもアパートがなく、定住できないという形になっているのではないかなと思います。

あと、移住政策を南相馬市が力を入れて取り組んでいると思うのですが、どんな人がターゲットか、明確ではないと思っています。起業されたい方をたくさん集めたいなら、起業者が集まるような施設を設備しなければならないし、ファミリー層を集客するのであれば、今ある宅地の価格を下げる政策をしなければいけないなということが、私が思う空き家空き地に関する課題です。

そこで手段として旧小高商業高等学校を活用できる方法がないかと考えたときの提案が、土地分譲ということでした。例えば原町区の石神エリアは、子どもの数が増えており、分譲地が増えて安いところだと、2000万円台の一戸建てが乱立しました。結果として、石神地区の居住者は増えました。民間に旧小高商業高等学校の払い下げを行い、低価格で分譲していくこともありなのではないかと思います。そうすると、市内に空き家空き地を持っている方も、このままじゃ自分の土地が売れていかないと考えるので、値段を少し下げるきっかけにもなるのではないかと思います。

母親としての課題なんですけど、日曜日小高区で過ごせないと思っております。私は普段日曜日、高見公園に行ってその後原町区で買い物をしたりしています。後は名取市や仙台市に行ったり、浪江町に食事に行ったりしています。これはどうなんだろうと思ったため、郡山市の開成山公園や檜葉町の天神岬のような、複合公園施設整備を提案させていただきます。

○小高区地域振興課活性化担当係長

ありがとうございます。前回話があがった払い下げの件、改めて県に確認しましたが、市で使わずに民間に払い下げとなりますと、県の補助金は使えないという話があり、難しいという話がありました。続きまして半谷恵美子委員お願いいたします。

○半谷恵美子委員

私が提案したのは、複合的な公園です。イメージは代々木公園をコンパクトにした場所です。複合的な公園でしたら、みんなが活用しやすいかなというイメージです。遊歩道を整備した森林公園のような形で、散歩やランニングを行う。またグラウンドも整備されていて、野外ステージやイベント広場、その中に交流できる建物があってもいいのではと思います。色々な人たちがそれぞれの目的で集まり、それぞれの時間を過ごせるような場所ができればいいなと思います。

○小高区地域振興課活性化担当係長

ありがとうございます。次に、杉委員お願いします。

○杉委員

自分が考えていたのは、まずは人口減少、高齢者の増加状況です。この地区はゆくゆく限界集落となる可能性があるのではないかと思います。それを阻止するためにはどうすればいいかと考えており、やはり人口の増加は必須であり、そのためにどうすればいいかと考えた際に、若い世代が生活できるまち作りが必要ではないかと考えております。例えば専門学校の建設とか、短大の開設とか課題はいろいろあるかとは思いますが、専門学校であれば、地元の学校を卒業して地元就職できます。他の市町村からもきて、ここに勤めることができるという形になるのではないかと考えておりました。

もう一つはやはり若い世代が生活できるようにということで、運動施設の拡充も必要と考えております。拡充されることで、大きい大会も持ってこれるのではないかと思いますし、それをきっかけに小高区に人を集めることができるのではないかと思います。

○小高区地域振興課活性化担当係長

ありがとうございます。次に、飯塚委員お願いします。

○飯塚委員

以前から色々と提案等をお話したことがありましたが、中々実現できない経緯がありました。私は今回皆さんがこうなってほしいといった提案の事業が進むのであれば、それを応援したいと思います。

○小高区地域振興課活性化担当係長

ありがとうございます。続きまして、末委員お願いします。

○末委員

旧小高商業高等学校跡地については、皆さんから出尽くしたと思うので、特段ありません。

○志賀副会長

まとめると、複合施設や遊び体験ができる公園施設の併存という形になりますでしょうか。

○小高区地域振興課活性化担当係長

皆様からいただいた意見を見ると、ベースとしては公園機能、それに何か付加価値をつけるといった形かなと思います。

○菅原委員

一つよろしいでしょうか。皆さんのお話を聞いて思ったのは、公園とか運動施設の話が出たので、せっかくなら、学生の合宿所となるような施設があればいいのではないかと思います。そこに温浴施設があって、皆で来れるような施設があればいいなと思いました。

○小高区地域振興課活性化担当係長

ありがとうございます。皆さんからの意見を整理すると、基本的に公園のような広場があって、そこに付加価値をつけること、もう一つ課題としては住む場所がないので、宅地の整理が必要であること、さらに昔から言われている温浴施設がないという三つが考えられます。

皆さんが意見を出された中で、気になるころがあれば質問しあっていただけだと思います。私からも一つ質問ですが、熊田委員から土地の価格が高いという話がありましたが、価格を下げる方法はあるのでしょうか。

○熊田委員

私の一意見なんですけど、宅地がないわけではありません。住もうと思えば直して住むことは可能です。所有者の方々は、自分の土地にどれぐらいの価値があるのかというのを役所の評価証明書を基準に考えます。現状小高区ですと高い評価証明が出てきますので自分の土地には価値があると考えます。例えば、どこかで特区を設けて1年間この地区で宅地購入の際は補助を出します等、強引な方法を取らないと土地の価格が下がるということはないのかなと思います。

○小高区地域振興課活性化担当係長

結局需要と供給のバランスもあると思いますので、そこが崩れているという形なのかもしれません。

○小林委員

私自身も色々な知り合いから安い金額で、土地を求められることもあるの

で、活かしていければと思ってます。話を聞くと、本当は売りたいんだけど売れない、そういうジレンマがずっと続いているように感じます。これを何とかしないと、空き地は埋まっていきません。例えば市が借り上げを行い、建物を建てて起業する人たちに仕事場を提供する形ができればいいなと思います。あとは公営住宅もありますが、1年で退去しなくてはなりません。そういったことを改善しない限り、新しい人たちが住み続けられないと思います。せっかく来ても帰っていく人もいます。ここに来た人たちをどうやってここに定住していただけるかを、もう少し行政は真剣に考えてほしいと思います。旧小高商業高等学校は公園や憩いの場を整備しつつ、空き地活用の方法も一緒に検討できればいいなと思いました。志賀さんどうでしょう。

○志賀副会長

先程視察研修でオガールの話がありましたが、市役所や図書館等もあると話がありましたが、実は分譲もしております。そういったことを考えると、旧小高商業高校の周りに付加価値をつけて安く販売してもいいのかなと思いました。途中で価格を下げるというのは、いわば固定資産税が下がることなので、決して市にとっては財政的には良いことではありません。しかしオガールでは、不動産価値を上げて、そこに人を呼ぶということを、コンセプトにしております。こういった事例があることから、行政ができないことはないと思います。

○小高区地域振興課活性化担当係長

ありがとうございます。その他皆さんから何かありますか。

○志賀副会長

温浴施設の運営は決して簡単ではないので、簡単にできるとは思わないでくださいというのが私の思いです。温浴施設があるから人は来るのではありません。何かと組み合わせをして集客をしないと人は来ません。

○小高区地域振興課活性化担当係長

ありがとうございます。その他ございますか。

○半谷恵美子委員

せっかくやるのだったら、また中途半端になるようなことはやめてほしいということをお願いしたいと思います。予算の関係もあり、予算の範囲内で最大限人が呼べる内容の落としどころを見つけていくと思いますが、色々と中途半端になって結果人が来ないとなると、本末転倒なので、例えばまちづくりをしてる方にアドバイスに入っていただく等、検討いただければと思います。

○小高区地域振興課活性化担当係長

ありがとうございます。その他皆さんから何かありますでしょうか。

○志賀副会長

先程コンセプトの話がありましたが、ここに行けば面白い、色々なことが体験できるとかがあればいいのかなと思います。

全国的に見て人口が3,000人前後でも、特色があれば人は集まってきます。そういった箇所には例えば温泉等があったりします。将来的に小高は2,500人になるということも考慮したうえで施設を検討した方が得策かなと思います。

○小高区地域振興課活性化担当係長

皆さんありがとうございます。この地域協議会から出た意見につきましては、庁内でワーキンググループを設置させていただきまして、こちらでたたき台を作成させていただきます。たたき台を作成しましたらまた皆様にご意見をいただいてフィードバックさせていただくということを、複数回繰り返していくことを予定していますので、よろしくお願いいたします。

では、議事を会長にお戻しします。

○阿部会長

委員の皆様、ありがとうございました。今後旧小高商業高等学校跡地については、庁内ワーキンググループが設置されるということで、動きがありましたら、都度フィードバックをお願いいたします。

③次回の会議開催について

○阿部会長

次回会議開催予定について、事務局より連絡をお願いします。

事務局より説明

○阿部会長

その他、各委員、事務局から何かございませんか。

○阿部会長

なければ、以上をもって、本日の会議を終了いたします。

5. 閉 会

○小高区地域振興課長

阿部会長ありがとうございました。

以上をもちまして、令和7年度第6回南相馬市小高区地域協議会を閉じさせていただきます。ありがとうございました。

令和7年度第6回小高区地域協議会会議録

小高区地域協議会長 阿部 貞康

会議録署名人 飯塚 宏

会議録署名人 杉 重典

